

平成29年11月15日

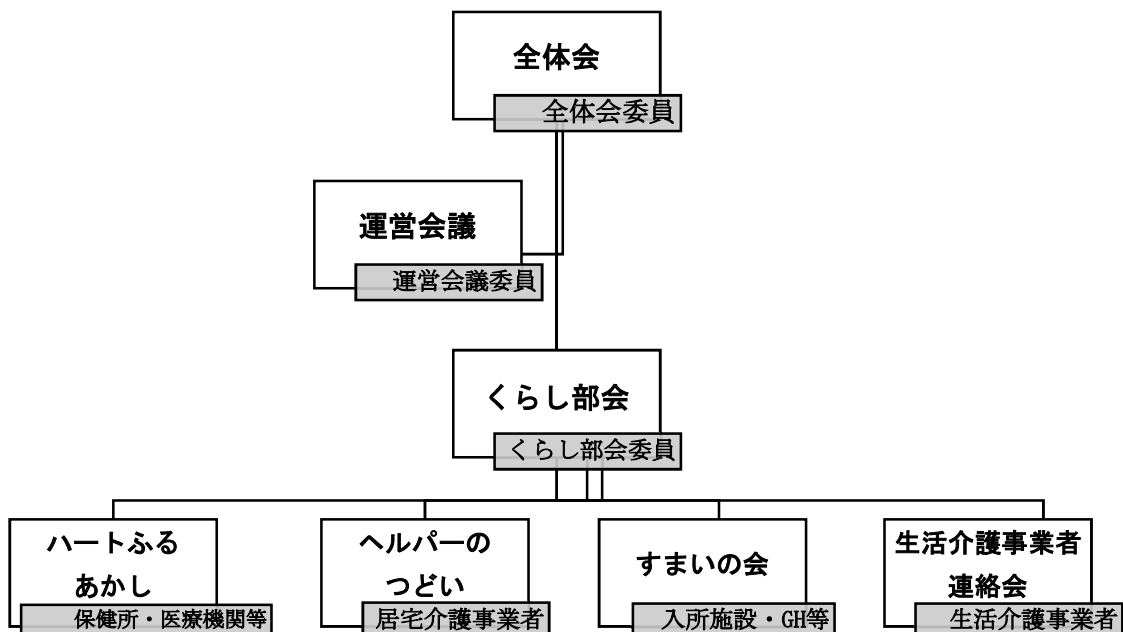
平成29年度 <くらし部会> 活動報告 と 今後の取り組み

部会長 鳥居 健一
（（社会福祉法人）明桜会
相談支援事業所 オアシス・
明石市障害者就労・生活支援センター あくと）
副部会長 山崎 信吾
（（特定非営利活動法人）きぼうの空
障害福祉サービス事業所 にじの空）

1. 基本的な活動方針

「明石市第4次障害者計画」における優先課題の解決をめざし、「明石市障害福祉計画（第4期）」における計画の基本方向等を踏まえ、『住み慣れた街での暮らしをいかに保障していくか』をスローガンに具体的な活動をすすめていきます。

<くらし部会> 組織図



2. 活動進捗状況

(1) 本会議

【実績】

- ・ 6月14日(水) 第1回本会議
(議事) 各ワーキンググループの活動報告・活動予定

【今後の活動予定】

- ・ 12月12日(火) 第2回本会議

(2) ワーキンググループ活動

① くハートフルあかし>(担当委員:野口・松中)

【実績】

- ・ 5月9日(火)、6月13日(火)、8月10日(木)にコア会議を実施。
- ・ 『障害福祉サービス等従事者向け精神保健福祉研修』を開催
◎ 基礎編:平成29年10月4日(水) ・63名参加

【今後の活動予定】

- ・ 『未来語りのダイアログ』ワークショップ
平成29年11月27日(月)
- ・ 『障害福祉サービス等従事者向け精神保健福祉研修』
◎ 応用編:平成29年11月30日(木)

② くヘルパーのつどい>(担当委員:小林)

【実績】

- ・ 6月22日(木)、8月23日(水)にコア会議を実施。
第1回:9月28日(木)開催 『介護技術研修リスクマネジメント～現場で活かせる研修～』
腰痛予防について真面目に考えよう～ヘルパー業務を1日でも長く楽しく続けるために～
・29名参加

【今後の活動予定】

- ・ 11月29日(水) 第3回コア会議

③ く生活介護事業所連絡会>(担当委員:山崎・佐々木)

【実績】

- ・ 5月19日(金)、8月18日(金)にコア会議を実施
- ・ 「作業療法士による事業所支援に関するパイロット事業に関するアンケート」を実施。
11事業所のうち7事業所が本事業に参加の意向。

【今後の活動予定】

- ・ 11月初旬にコアメンバーにて、パイロット事業の進め方を検討。

④ くすまいの会 > (担当委員 : 宮崎・満吉)

【 実績 】

- ・ 5月19日(金)にコア会議を実施
(議事)
「居住系サービスにおける災害対策」に関する意見交換と勉強会について検討。
- ・ 8月18日(金)に勉強会を開催。
「明石市の防災対策について」明石市総合安全対策室 地域防災対策担当係長 徳永氏
「被災地における障害者支援について」特定非営利法人 拓人こうべ理事 稲本氏

【 今後の活動予定 】

- ・ 11月17日(金)第2回コア会議

平成29年度 明石市地域自立支援協議会 暮らし部会 会議・会合等 実績及び予定

名 称 (担当委員)	具体的な取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議 (全員)	WGの設置・承認・WGの活動支援、進捗管理、運営会議への報告事項まとめ等			第1回 6/14(水) 15:00～ オアシス						第2回 12/12(火) 15:00～ オアシス			第3回 (予定) オアシス
ワーキンググループ	ハートふるあかし (野口・松中)		第1回 5/9(火) 16:00～ 保健所	第1回 6/13(火) 16:00～ 保健所		第3回 8/10(木) 15:30～ 保健所		精神保健 福祉研修 10/4(水) PM:基礎編 明石市 医師会館	未来語りWS 11/27(月) 県立大 精神研修 10/30(木) PM:応用編 医師会館		第4回 (予定) 保健所		
	ヘルパーのつどい (小林)			第1回 6/22(木) 14:00～ ユーアイ		第2回 8/23(木) 14:00～ ユーアイ	介護技術リス クマネジメント 研修① 9/28(木) 17:00～ ユーアイ		第3回 11/29(水) 14:00～ ユーアイ		第4回 (予定)	介護技術リス クマネジメント 研修 ② (予定)	
	すまいの会 (宮崎・満吉)		第1回 5/19(金) 13:30～ 博由園			第2回 8/18(金) 13:30～ 防災勉強会 博由園			第3回 11/17(金) 13:30～ 博由園			第4回 (予定) 博由園	
	生活介護事業者 連絡会 (山崎・佐々木)	生活介護のサービス 提供を通じて得られ た課題の抽出と意見 集約		第1回 5/19(金) 15:30～ YELL			第2回 8/18(金) 15:30～ 木の根学園						第3回 (予定)

平成29年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol. 23 平成29年9月8日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

皆様、少し秋めいた気候に変わりつつある今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、くらし部会のワーキングの一つである、生活介護事業者連絡会から報告をさせていただきます。

このワーキングは、これまで生活介護の事業者の情報交換の場がなかったことから、忌憚のない情報交換の場を設けようと発足したワーキングです。同種のサービスで、共通の悩み事や困り事等を、最大公約数的に洗い出そうとしましたが、同じ生活介護と言えども、職場環境、利用者の方、一人ひとりの障害特性の違いなどから、一様ではなく、改めて生活介護というサービスの曖昧さと、範疇の広さ、個別支援度の高さを再認識するに至りました。

そんな中、支援の項目や幅を増やし、利用者の方により豊かな日中生活を送っていただくために何ができるかという話になり、違う分野、違った視点からの気づきやアドバイスがあればよいのではないかと云う結論に至ったことから、神戸学院大学で教鞭をとっておられる、作業療法士の塚原正志先生と森川孝子先生にもワーキングにご参加いただくことになりました。既に生活介護事業というサービスのイメージを共有するため、いくつかの事業所を見学していただき、作業療法が日々の支援の中に介入できそうなイメージを持っていただいています。

今後は、試験的に少し長いスパンで介入して頂き、新たな気づきや、支援のポイント等を助言、提案頂く様な仕組み作りに取り組んでいこうと考えています。この取り組みでどのような成果が得られるかは未知数ですが、事業所だけで取り組むことが難しい支援課題に対して、作業療法士などの専門職が介入する事業所支援の仕組みが出来れば、事業所での支援や専門性の向上につながるのではないかと思います。一足飛びに物事は進まないと思いますが、良い支援、質の高い支援、支援者が楽しんで取り組む事の出来る職場づくりの一助になればと考えています。

ワーキングの様子



第1回 5月19日



第2回 8月18日

平成29年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol.24 平成29年10月12日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター 1 階）

電話番号 078-924-9155 ファクシミリ 078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

今年度のすまいの会では、「居住系サービスにおける災害対策」をテーマとし、活動を展開しています。その取り組みの一つとして、平成29年8月18日（金）障害者支援施設博由園のミーティングルームにて「防災対策についての勉強会」を開催しました。

1. 明石市の防災対策について

（明石市総合安全対策室 地域防災対策担当係長 徳永氏）

まず始めに、地震発生のメカニズムを含め、今後高い確率で発生が予想される「南海トラフ地震」が発生した場合の最大震度や津波被害また、地震だけでなく、台風や大雨による風水害時の被害予測や対策を「明石市のハザードマップ」を活用しながら説明していただきました。実際に災害が発生した際は、今までの教訓から、

「自助（自分の命は自分で守る。事前の備えが重要）」

「共助（自分たちの町は自分たちが守るお互いの協力が必要）」

の意識が大切であること、明石市内における公的な避難所は市立小・中学校となり、校区は関係ないこと、福祉避難所への避難については、一般の避難所、福祉避難室での生活が困難な要配慮者のうち、必要性や緊急性の高い人から優先的に行う仕組みとなっているとのことでした。

また、災害時の情報収集方法（緊急地震速報、エリアメール、スマートフォン災害アプリ）についても説明いただき、災害時における行政の動き、役割等についても知ることができました。



徳永氏の講義の様子



最後に、各事業所や施設で作成する防災に対するマニュアルについては、災害項目別にマニュアルを作成することが望ましいとの助言をいただきました。

2. 被災地における障害者支援について

(特定非営利法人 拓人こうべ理事 稲本須磨子氏)

実際に阪神淡路大震災時の被災地支援の経験について、被災地障害者支援センターの活動を中心に話をいただきました。当時の被災者の支援活動の中心を担っていた方の紹介や名簿をもとに、3人1組で訪問活動を実施し、震災前の繋がりが震災後の活動に繋がったという体験談を聞くことができました。稲本氏の話の中で「ご近所づきあいが実際に被災にあったときに生きる。いかに日頃から地域との繋がりをつくっておくかが大切。」であるという言葉には重みがあるように感じました。また、「施設で被災した場合、時間帯によって職員体制が異なり、職員は“仕事”と“家庭”のどちらを選ぶかという判断を迫られる。その時の為の備えが必要。」、「炊き出し訓練などを行う際、スタッフ（支援者）だけでの実施ではなく、利用者にも参加してもらい実際に体験してもらうことや、避難所となる施設等に実際に宿泊するという実践的な取り組みを行った。実際にやってみないとわからないことはたくさんある。」など、実際の経験に基づいた貴重なアドバイスをいただくことができ、大変参考になりました。



稲本氏

明石市には福祉避難室（2か所）、福祉避難所（6か所）が設置されていますが、実際に災害が発生し、受入要請があったとしても、「要配慮者を支援する人手の確保」といった問題は解決できていないのが現実だと思います。そのような問題を解決していくためには、日頃から地域との繋がりをつくり、地域との連携を強化することが今後の鍵になると感じました。今回の勉強会をヒントに、ワーキングとして出来る事を明確にし、今後の活動に繋げていきたいと思っています。

(報告者：満吉満作／博由園)



平成29年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol. 25 平成29年10月19日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

くらし部会ワーキング⑤「ヘルパーのつどい」では、9月28日に今年度1回目の介護技術リスクマネジメント研修「腰痛予防について真面目に考えよう～ヘルパー業務を1日でも長く楽しく続けるために～」を開催、9事業所29名の方に参加頂きました。研修講師はケア21二見の管理者である大西さんにお越し、講義とトレーニングの実技を行い、また、株式会社アーサの橋本さんより、「移乗支援用具の紹介と活用法」と題したミニ講義と、最新の介護機器を紹介頂き、大変充実した研修となりました。当日の様子をワーキングメンバーである、ふらふの倉八さんにレポート頂きます。

今回の研修では、ケア21大西氏が冗談を交えながら楽しい雰囲気の中、体の構造を知り、筋肉の使い方を意識したトレーニングを行い、介助者に多い腰痛予防ができる研修となりました。参加者が実際に参加して楽しみながら体幹トレーニングや筋力トレーニングの必要性や方法を理解し習得できたと思います。短時間の研修でしたので、紹介できるトレーニングに限りはありましたが、今後もトレーニングに詳しい人を招き、年齢別や体力別に分かれて、安全にしっかりとした予防トレーニングを定期的に行うと良いのではないかと思います。また事業所へ持ち帰って、ヘルパーさんたちに指導できるような研修と位置づけることが大切ではないかと感じました。

また、今回ご紹介頂いた福祉用具の開発スピードに驚かされました。立位台かと思ったものが実はリフトで、ベッドに座ったままリフトを近づけて移乗ができるという画期的なものでした。車椅子からベッドへ移乗できるよう、車いすのサイド部がそのままスライディングボードになり、利用者さんを持ち上げることなく移乗できるなど、福祉用具各社で特色のある開発が進んでいて、利用するには不具合や利用者が限定される場面もありますが、開発者の熱意が伝わったように感じました。

ヘルパーを続ける上では、体力維持のための継続的なトレーニングは大切で、支援者自身が高齢者になった時に‘やってよかった’と思えるようなプログラムにしていければと思います。ゆくゆくはコアメンバーや参加者からトレーニングの指導者を輩出できれば、プロの高額なトレーニング費用をかけることなく、トレーニングができるのではないのでしょうか。

研

修

風

景

